



# 声

## みんなのひろば



谷野保人 (平田)

現在大山町には、数多くの課題がある。学校の統合、公共交通、第一次産業就業者の減少等々。

大山町も将来人口が減少するということ。町政を進めていく。心配するということなら話しは別だが、人口は民力そのもの。人口増について愚策を述べます。

まず、町長が人口増の政策を英断する。それを議会が全面的に協力バックアップする。そして、町民はその政策が実施され、税の不公平、町費が無駄のように出費されるのを覚悟する。



岡田邦雄 (西坪)

西坪集落では、毎年の10月下旬から11月の初旬の日曜日に集会所において「西坪まつり」を開催しております。集会所の中には子どもから老人まで多くの作品(習字、絵画、写真、工作物、陶器、歴史的資料等)を展示し前庭では焼

きそば、焼きイカ、フランクフルト、焼き芋等の屋台が並び餅つき大会、マジックショー、スリッパ飛ばし、ビンゴ大会、カラオケなど、盛り沢山の催しで大変賑わいました。

も顔を出されるなど、集落外からの来場所も多く、町長のカラオケで、大いに盛り上がりました。特に今年は、集落内の遺跡で出土した石器の矢じり等が県教育委員会より展示され、同職員さんの遺跡説明もあって集落の古代を知る機会となりました。



郷田大地 (なかやま 団地)

私は、この春より大山町の若者向け町営住宅に住み始めました。

麗で通勤の辛さも忘れ、心が洗われます。しかし、現在住んでいる若者向け町営住宅はとても安い反面、収納スペースがあまり無く、外灯が無いので、夜に帰宅した時にとっても暗く、段

差がとても危ないです。また、入居のためには大山町民の連帯保証人が2人必要と町外からとても入居が難しいです。大山町には現在賃貸物件がほとんど無く、移住しにくくなっているのも、もっと柔軟な受入態勢を整え、大山町をもっと開放的で活気のある町にしていくって欲しいです。

大	山	町	活	性	化
の	愚	策			

集	落	に	賑	わ	い	を

移	住	し	や	す	い
大	山	町	に		

### あとがき

大晦日から元日にかけての積雪は里部でも90cm前後となり、短時間の降雪としては未曾有の豪雪となった。そのため、ビニルハウスや畜舎、野菜・果樹などに大きな被害を出し、交通マヒや停電などを引き起こした。

被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。豪雪対応には、町長を先頭に職員、消防団の多くが尽力され、国道の通行不能に当たっては浴道のみなさんが温かい支援をされた。各集落では、協同して除雪が行われた。

防災の視点から、行政も議会も、そして、集落においても、今回の豪雪の教訓を今後に生かしたいものだ。

大森

《発行責任者》  
議長 野口俊明

- 《広報委員会》  
委員長 竹口大紀  
副委員長 大森正治  
委員 西山富三郎  
委員 池田満正  
委員 杉谷洋一  
委員 米本隆記